

# 伊万里市再生可能エネルギービジョンの一部改正について

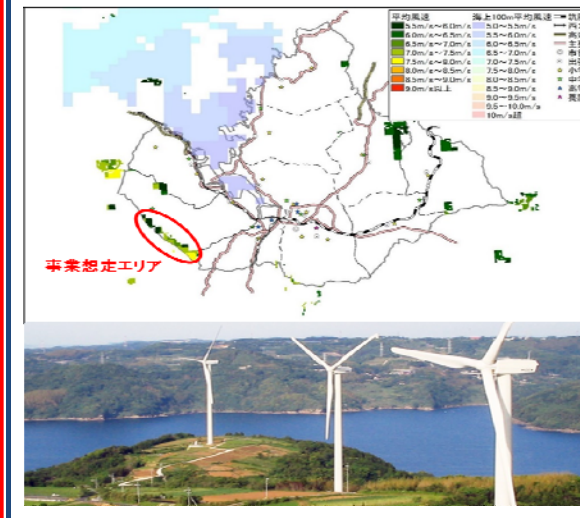
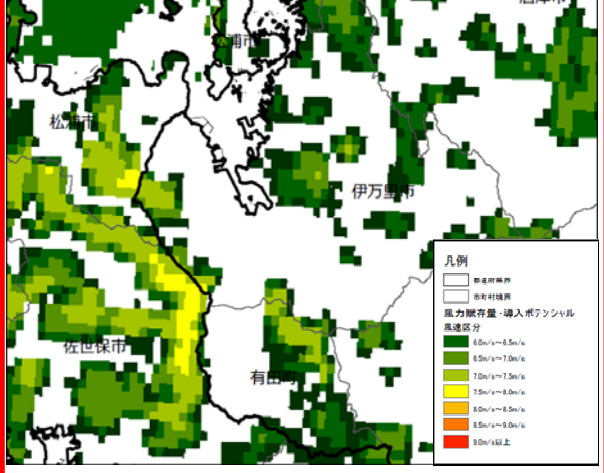
## 1. 一部改正の趣旨

伊万里市再生可能エネルギービジョンは、市域における再生可能エネルギーの普及・啓発を図るとともに、公共施設等へ再生可能エネルギーを積極的かつ率先して導入することにより、エネルギー構造の高度化等に向けた地域住民等の理解を促進することを目的に、平成30年2月に策定しましたが、再生可能エネルギーを取り巻く環境の変化等に柔軟に対応するため、市内の実情等を踏まえて一部改正を行います。

## 2. 一部改正の内容

※新旧対照表のとおり

### (1) 大型風力発電プロジェクト (ビジョンP46～47)

旧	新
<p>(1) 大型風力発電プロジェクト</p> <p>1) 概要 本プロジェクトは、市内で比較的風量が見込める<u>国見山付近</u>に大型風力発電設備等の設置を想定して検討を進めます。</p> <p>2) 実施形態 省略</p> <p>3) 導入イメージ等 再生可能エネルギーの種類としては、民間事業者が進める風力発電のため、環境アセスメント（環境影響評価）での情報を入手しながら、事業推進を支援（問題等があれば、改善指示等）していきます。</p>	<p>(1) 大型風力発電プロジェクト</p> <p>1) 概要 本プロジェクトは、市内で比較的風量が見込める<u>エリア</u>に大型風力発電設備等の設置を想定して検討を進めます。</p> <p>2) 実施形態 省略</p> <p>3) 導入イメージ等 再生可能エネルギーの種類としては、民間事業者が進める風力発電のため、環境アセスメント（環境影響評価）での情報を入手しながら、事業推進を支援（問題等があれば、改善指示等）していきます。</p>
 <p>資料：(イメージ) 株式会社ガスアンドパワー</p>	 <p>資料：環境省「再生可能エネルギー導入ポテンシャルマップ・ゾーニング基礎情報（平成28年度更新版）」</p>

(2) 重点プロジェクト推進スケジュール (ビジョンP67)

1. 重点プロジェクト推進スケジュール

ビジョンの中心となる重点プロジェクトは以下のスケジュールで実行してまいります。

旧

重点プロジェクト名	短期			中期			長期			プロジェクト概要	主体の想定	
	2018年度～	2019年度～	2020年度～	2021年度～	2022年度～	2023年度～	2024年度～	2025年度～	2026年度～		公共	民間
① 公共施設BCPプロジェクト	FS	事業化								市が保有する公共施設において、再・省・蓄エネ化し、カーボンマネジメントと防災時にも活用できる事業継続性(BCP)機能を有した設備導入を検討する。	○	
② 再生可能エネルギー農業プロジェクト	FS	事業化								太陽光発電や蓄電池及びLEDを組合せた、ビニールハウスでの最先端キュウリ栽培等の伊万里モデルを検討する。		○
③ 大型風力発電プロジェクト				民間主体による事業化						国見山付近に大型風力発電設備の設置を検討する(民間ベースを想定)。		○
④ 沿岸部太陽光+小型風力発電プロジェクト	FS	事業化								比較的風の強い沿岸部において、太陽光と小型風力発電の組み合わせにより、周辺施設や外灯の電力に活用を検討する。	○	○
⑤ 小水力発電プロジェクト	FS	地域モデル事業化								河川や農業用水・水道施設において10kW超のFIT想定モデルから、山間地での電気取扱いや環境学習モデルまであらゆる可能性について検討する。	○	○
⑥ 畜産廃棄物活用プロジェクト	FS	詳細調査		事業化						伊万里市のブランドである伊万里牛から排泄される糞尿等を活用した発電供給設備(バイオガス化or直接燃焼)の導入を検討する。		○
⑦ 木質バイオマスプロジェクト	FS	地域モデル事業化(木の駅)								『木の駅』の開設により個人から間伐材等を収集し、木質バイオマスボイラー等の燃料として活用を検討する。	△+	○
⑧ 大川内山プロジェクト	FS	地域モデル事業化								未利用材を活用した観光客向けの足湯を提供や、小水力発電の活用を検討する。また、個別の需元で完結する小規模な廃熱利用発電についても検証する。	○	○
⑨ 市民主体による環境学習プロジェクト	FS	環境学習の継続的な実施								はちがゆブランドの活動(食資源循環、菜の花プロジェクト等)やすみやま地区等でのマイクロ水力発電などを組み合わせた環境学習モデルを検討する。	○	○
⑩ 『見える化』による市民啓発プロジェクト	FS	事業化								市役所南側の公用駐車場屋根において、太陽光発電パネル等を見本市のように設置したり、市有施設に発電量表示板を取り付け、市民への広告・啓発を検討する。	○	
⑪ 地域新電力によるエネルギー資金の地域循環プロジェクト	FS	(主体構築)		事業化						地域新電力会社を設立し、伊万里市産の再生可能エネルギーが市内で循環する仕組みを検討すると共に、電力供給と併せて生活支援サービス等を提供する。	△+	○

1. 重点プロジェクト推進スケジュール

ビジョンの中心となる重点プロジェクトは以下のスケジュールでの実施を目標とし、随時見直しを行ってまいります。

新

重点プロジェクト名	短期			中期			長期			プロジェクト概要	主体の想定	
	2018年度～	2019年度～	2020年度～	2021年度～	2022年度～	2023年度～	2024年度～	2025年度～	2026年度～		公共	民間
① 公共施設BCPプロジェクト	FS	事業化								市が保有する公共施設において、再・省・蓄エネ化し、カーボンマネジメントと防災時にも活用できる事業継続性(BCP)機能を有した設備導入を検討する。	○	
② 再生可能エネルギー農業プロジェクト	FS	事業化								太陽光発電や蓄電池及びLEDを組合せた、ビニールハウスでの最先端キュウリ栽培等の伊万里モデルを検討する。		○
③ 大型風力発電プロジェクト				民間主体による事業化						市内で比較的风量が見込めるエリアに大型風力発電設備の設置を検討する(民間ベースを想定)。		○
④ 沿岸部太陽光+小型風力発電プロジェクト	FS	事業化								比較的風の強い沿岸部において、太陽光と小型風力発電の組み合わせにより、周辺施設や外灯の電力に活用を検討する。	○	○
⑤ 小水力発電プロジェクト	FS	地域モデル事業化								河川や農業用水・水道施設において10kW超のFIT想定モデルから、山間地での電気取扱いや環境学習モデルまであらゆる可能性について検討する。	○	○
⑥ 畜産廃棄物活用プロジェクト	FS	詳細調査		事業化						伊万里市のブランドである伊万里牛から排泄される糞尿等を活用した発電供給設備(バイオガス化or直接燃焼)の導入を検討する。		○
⑦ 木質バイオマスプロジェクト	FS	地域モデル事業化(木の駅)								『木の駅』の開設により個人から間伐材等を収集し、木質バイオマスボイラー等の燃料として活用を検討する。	△+	○
⑧ 大川内山プロジェクト	FS	地域モデル事業化								未利用材を活用した観光客向けの足湯を提供や、小水力発電の活用を検討する。また、個別の需元で完結する小規模な廃熱利用発電についても検証する。	○	○
⑨ 市民主体による環境学習プロジェクト	FS	環境学習の継続的な実施								はちがゆブランドの活動(食資源循環、菜の花プロジェクト等)やすみやま地区等でのマイクロ水力発電などを組み合わせた環境学習モデルを検討する。	○	○
⑩ 『見える化』による市民啓発プロジェクト	FS	事業化								市役所南側の公用駐車場屋根において、太陽光発電パネル等を見本市のように設置したり、市有施設に発電量表示板を取り付け、市民への広告・啓発を検討する。	○	
⑪ 地域新電力によるエネルギー資金の地域循環プロジェクト	FS	(主体構築)		事業化						地域新電力会社を設立し、伊万里市産の再生可能エネルギーが市内で循環する仕組みを検討すると共に、電力供給と併せて生活支援サービス等を提供する。	△+	○